

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

## 取組の概要

取組の概要 : 品質・付加価値の向上による差別化を目指した特色ある米づくりの実現  
計画作成主体 : 比布町地域農業再生協議会  
対象品目 : 水稻 (産地面積: 1,185ha)  
主な取組主体 : 比布町農業協同組合  
成果目標 : 契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上  
助成金の活用: 整備事業 (穀類乾燥調製施設) 状況

## ポイント

現在、既存施設では処理能力の2倍以上の量を受け入れており、受入能力の不足により適期収穫に支障をきたし、品質低下を招いている。また、品質調製に限りがあるほか、被害粒等の選別ができず、クリーン米 (YES!clean、特別栽培米) の取組拡大が進まない。  
既存施設の荷受能力等の増強 (荷受ライン増設、色彩選別機の導入等) を契機に、適期収穫を可能にするとともに、高品位での仕分調製、クリーン米の取組拡大による他産地との差別化が図られ、契約栽培の増加によって産地の収益力を向上させる。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

現状: H27年度

作付面積: 1,097ha  
特色ある米づくりを目指しているが、共同調製施設の能力不足から生産者の適期収穫に支障 (品質低下) 品質調製は仕区分内のみ被害粒や未熟粒への対応不可

目標: H30年度

作付面積: 1,185ha  
共同調製施設の能力増強から適期収穫 (品質低下リスク低減) 高品位による品質均一化 クリーン米拡大 (YES!clean、特別栽培米)  
→ 品質・付加価値の向上により特色ある米づくりへ

## 推進体制

地域の関係者 (比布町、比布町農業協同組合、農業関係者等) が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

主な取組

町・JA・普及センターなど関係機関で構成される比布町営農指導対策幹事会が中心となり、土壌分析など肥培管理の取組を促進。

道・市町村単独事業

担い手への農地の利用集積の推進、低コスト化・環境への配慮を意識した取り組みなどについて総合的に支援。

## 事業効果

高品位による品質均一化、クリーン米拡大など品質・付加価値の向上と、肥培管理の取組の定着化による良質米の安定生産から、需要の確保が見込め、契約栽培割合の拡大 (15%以上の増) を実現。

~ 契約取引割合の増加 ~

